

今月の情報共有化と検討課題

1. 今回の会議の目的

- ① 芦屋市のごみ行政の現状と今後 5 年間の方向性を理解する
- ② パイプライン施設の現状と実証実験の進捗を共有し、将来の収集方法について考える
- ③ 家庭でできるごみ減量(特に生ごみ対策)について学び、実践につなげる

この会議は、単なる活動報告ではなく、「パイプラインの将来を考えること」と「ごみそのものを減らすこと」の二つを住民が一緒に考える場として位置付けています。

2. 情報共有

(1)パイプライン運転状況

- ・ 4～5 月のトラブルは 60 件発生
- ・ 利用者起因は 1 件のみ
- ・ 主な原因は設備の老朽化や雨水侵入
- ・ 今後は設備維持管理が重要課題

(2)廃棄物減量推進審議会報告

- ・ 芦屋市は新しい一般廃棄物処理基本計画を策定中
- ・ 人口減少・高齢化への対応が重要課題
- ・ 紙資源の分別強化が最優先課題
- ・ リチウムイオン電池対策やプラスチック資源循環も推進

(3)ワーキンググループ報告

- ・ 実証実験の準備が進行中
- ・ 高層・中層・戸建・タウンハウスでモニター実施予定
- ・ ごみステーションやルール案を検討中
- ・ 高浜 2 街区の停止問題への対応状況

(4)ごみ減量対策

- ・ 生ごみの約 80%は水分
- ・ 「食品ロス削減」「水切り」が最も効果的
- ・ 家庭でできる具体的な減量方法を紹介

3. 検討課題(ディスカッション)

テーマ①

今後のパイプライン運転方法について

【論点】

- ・ 現在の全投入口吸引運転は適切か
- ・ CO₂削減と利便性をどう両立するか
- ・ 満杯発生データを活用した運転は可能か
- ・ 投入口ごとの利用実態に応じた運転ができないか

【議論したいこと】

- 利用者としてどの程度のサービスレベルが必要か
- 段階的な社会実験を行うべきか

テーマ②

家庭でできるごみ減量について

【論点】

- 生ごみをどう減らすか
- 水切りの普及方法
- 生ごみ処理機の活用
- 食品ロス削減の工夫

【議論したいこと】

- 自分たちの家庭でできる取り組み
- 地域全体で広げる方法

本日の結論として確認したいこと

- ① 実証実験を引き続き支援する
- ② パイプライン運転見直しの検討を進める
- ③ 生ごみ減量を各家庭で実践する
- ④ ごみ出しルールとマナーを継続して守る

以上